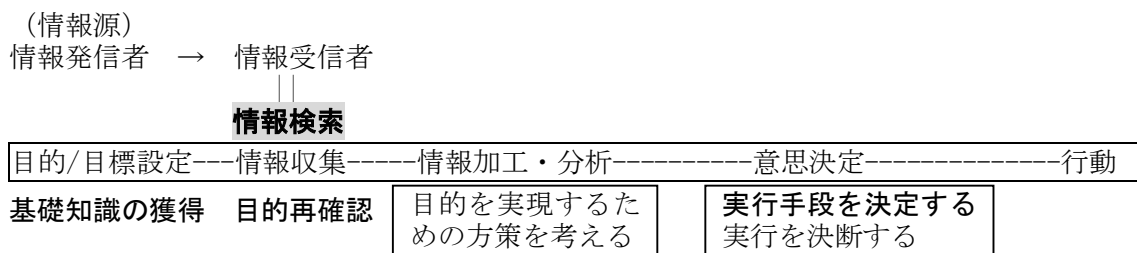


Web 情報から情報収集する検索課題を設定し、設定した課題を登録する。情報検索は、同じ課題で日本語と英語の情報を収集するので、地域が限定されるような話題は避けること。

### 1. 検索課題の設定

情報検索は情報収集の非常に有効な手段である。人が情報を収集するのは、情報収集した情報を使って目的を実現させるための方策を考えたり、実行するかどうかを判断したりするためである。そのため効果的な情報収集のためには、まず情報収集の目的や、目的達成の程度を示す目標を明確にする必要がある。そして情報検索に着手するにあたってはこの目的と目標を再確認する必要がある。特に収集する情報量が多くなると目的や目標を見失ったり、変化したりしがちであるので再確認は必要である。

目的と目標の設定にあたっては検索課題に関する基礎知識が必要である。事情の良くわかった業務のために情報収集する場合は個別の話題に関する基礎知識が既に備わっているが、未知の新しい話題に関する情報を収集するためにはある程度の基礎知識が無いと的確なキーワードを使用することができない。必要な情報を絞り込むには、重要な概念を示すキーワード（通常は名詞）を一般的には最低でも 3 語程度使用する必要がある。キーワードが 1 語あるいは 2 語程度では、特別な固有名詞を使用する場合を除いて、概念で情報を絞り込むことは困難である。基礎知識を得るには検索エンジンを使用して思いつく言葉で予備検索を行って、Yahoo カテゴリーに登録されたサイトや、google の上位に表示されたサイトの情報で概要を把握するのが最も簡単な方法である。しかし本格的に情報を集める場合や、全く未知の情報を集める場合、環境問題・少子化対策・日中関係といった広い範囲を対象にした情報や遺伝子組み換え作物・地球温暖化・ダイオキシンなどの専門的な知識を必要とする情報を収集する場合などは、少々時間が必要でも図書や雑誌とからある程度まとまった基礎知識を得てから情報収集に着手したほうが良い。Web の情報から断片的な基礎知識を得るより結果的に短時間で良い結果を得ることができる場合が多い。



情報検索により得られた複数の情報を使用して情報の分析加工を行う。通常複数の情報には相互に矛盾する内容が含まれることから、情報の取捨選択を行ったり、グループ化したり、ウエート付けを行ったり、グラフ化したりして加工・分析を行う。さらに情報の加工・分析の結果から、目的や目標を実現するための意思決定を行う。

## 2. 情報検索の設定用紙

### 【情報収集の目的目標を設定し情報検索を効率的に行う】

何をするために情報を収集するか（到達目標）、収集する情報をどのように利用するか（利用方法）を明らかにしたうえで（仮説でも可）、情報検索のため必要な検索課題、キーワード、検索式を決める。

1.氏名 \_\_\_\_\_

2.学籍番号 \_\_\_\_\_

3.情報検索対象分野：次の分野から興味のある1分野を選択する。 \_\_\_\_\_  
哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術、工学、工業、産業、ビジネス、経済、政治、芸術、言語、文学、コンピューター、教育、娯楽、旅行、スポーツ、健康、ニュース、地域、環境、ファッション、大学、企業の動向、ビジネス分野

4.情報検索課題（題名）：検索内容を20～30字程度で表現する（新聞の見出しに相当）

5.情報検索する内容

情報収集したい情報の内容を200～400字程度の文章で表現する。文章が内容を良く表現できていれば、検索に使用するキーワードはこの文章の中から選択できる。現状の自分の知識だけで決めるには情報が不足する人が多いので予備調査を行ってから決定すること。

6.情報検索（情報収集）の目的と目標

情報検索で対象とする情報を収集する理由を200～400字程度の文章で表現する  
できる限り目的と目標に区別して記入すること。

目的：何をするために情報収集をするか、収集した情報を使って何をするのか。

目標：目的の到達レベルを数値などで具体化したもの、収集する情報の種類や情報の利用方法などを具体化したもの。

7.日本語のキーワードの決定

検索課題の情報を収集する場合、重要と思われるキーワードを重要と思われる順に、3語～5語記入する。最低3語は必ず記入する。

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_

4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_

8.英語のキーワードの決定

検索課題の情報を収集する場合、重要と思われるキーワードを重要と思われる順に、5語記入する。

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_

4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_

9.検索式

重要と思われるキーワードを3～5語使用して、論理式（AND OR NOT）を使った検索式を作る。

意思決定には**実行手段を決定すること**と、実行するかどうかを決断するが含まれるが、大学などの教育現場では、レポートを作成したり、単に知識を得たりすることが目的となる場合が多く、意思決定を伴わない情報収集が多い。知識を得るための情報収集では、収集した情報を加工・分析して、自らの知識をより深めるため情報を使用する。

情報検索の授業では情報の加工・分析までを対象とするが、課題の設定段階では、情報検索（情報収集）の目的と目標も記述し、収集する情報の種類や範囲を明確にし、効果的な情報収集が実行できるようになることをめざす。

前頁に示す情報検索課題の設定用紙を使用し、情報検索の前に検索内容をできる限り具体的に記述する。検索内容を適切に記述できれば、適切なキーワードを選択し、適切な検索式を組み立てることができるようになる。しかし検索課題に関するある程度の基礎知識がないと具体的に検索内容を記述することができないので、良い情報検索結果を得るには、予備検索など事前の調査が必要である。

### 3. 情報検索課題の提出画面（1人1課題です） 5月8日（金）までに登録すること

1.氏名(漢字)+A/B(登録グループ)

例 阿部真由美+B ←忘れないように

2.学籍番号(例：11096001のように、数字8桁半角です)

例：11096001

3.選択分野(自分に役立つ情報を検索できる分野を選択する)

4.情報検索課題(内容がわかる簡単な文章)

5.情報検索する内容

自分の意志で情報検索したい内容を **200～600 字程度の文章**で詳しく表現する。文章が作成できないと的確なキーワードを決めるのは困難です。直接入力せず、できるだけワープロで作成した文章を下の枠内にコピーしてください。

6.情報検索(情報収集)の目的と目標

目的と、目標に区別して自分の意志で記入する。図表、数式は入力不可。  
目的は収集した情報を使って何をしたいかを記入する。  
目標はどの程度のレベルの情報を収集するかを記入する。

**7.日本語のフリーキーワード**  
5で作成した情報検索する内容から重要な順に3~5のキーワードを選択し記入する。

1  ~ 5

**8.英語のキーワード(辞書で調べて記入する)**  
重要な順に5キーワードを記入する。

1  ~ 5

**9.検索式の作成**  
重要と思われるキーワードを3~5語使用して、論理式(and, or, not)を使った検索式を作る。

- 一度登録した内容は原則として修正できません。内容に間違いのないことを良く確認して送信してください。
- リセットは送信前に入力をやり直す場合に使用してください。

#### 4. 提出画面から登録する項目の説明

##### 3.選択分野：情報検索対象分野

情報検索の対象はできる限り明確にしたほうが良い結果が得られる場合が多い。授業で行なう場合、情報検索対象分野をまず決めると課題を決めるヒントになる。課題の候補が既に存在する場合は、課題の内容から分野を選択する。

##### 4.情報検索課題(内容がわかる簡単な文章)

検索内容を20-30字程度で簡潔に表現する。図書の題名、新聞の見出しに相当するもので、検索内容を読まなくても検索の対処とすることが他人に理解できるように表現する。

##### 5.情報検索する内容

情報収集する内容を明確にする。情報の持つ意味は文字(テキスト)情報で伝達されるため、情報検索は基本的に情報の持つ概念を表現するキーワードを手がかりに検索を実行することになる。したがって情報収集内容を正確文章化することができれば作成した要約文に重要なキーワードが含まれる。課題を説明する文章から適切なキーワードを選択できるために

は、短い文章で重要なキーワードを全て含む文章を作成することは困難なので、200字～400字で内容を表現する。基礎知識が無いと100字も書けないので検索エンジンを使用して予備検索を行うこと。Yahoo カテゴリーに登録されたサイトや、google の上位に表示されたサイトの情報で概要を把握するのが最も簡単な方法である。

#### 6.情報検索(情報収集)の目的と目標

情報検索で対象とする情報を収集する理由を 200～400 字程度の文章でできる限り具体的に表現する。目的には、何をするために情報収集をするか、収集した情報を使って何をするのかなど、情報を使用する目的（自分の意志にもとずいた目的）を記述する。

目標には、目的の到達レベルを数値などで具体化した内容を、収集する情報の種類や情報の利用方法などを具体化した内容を記述できるように努力してください。

目的が明確でないと情報収集の意味がないことになり、膨大な範囲の情報を収集しても必要な情報が収集できないことになる。目標まで明らかにできると、効率的な情報検索が可能となり有用な情報収集が可能となる。収集した情報の利用方法などの目標は仮説でも良いので事前にできる限り明らかにすると情報収集が容易になる。逆に、目標が明確でないと必要な情報のレベルが確定しないため不要な情報まで収集することになる

#### 7.日本語のフリーキーワード

専門的な知識が無い状態で情報検索を行う場合は、検索課題の概念を的確に表現するキーワードを使用するが、目的とする情報を絞込むには最低3ワードが必要となる。概念を表すキーワードは基本的に名詞であるので、キーワードとして重要と思われる順に5つの名詞を選択する。項目5の「情報検索する内容」が正確に記述できていればこの文章の中から選択することができる。「情報検索する内容」に含まれないキーワードが存在する場合は項目5の内容を書き換えること。

#### 8.英語のキーワード(辞書で調べて記入する)

日本語キーワードに相当するキーワードを辞書を使って調べる。辞書で見つけた言葉が適切かどうかは、検索エンジンの検索キーワードに日本語と英語を同時に入力して検索すると、適切であれば日本語と英語の併記された多くのページが表示される。不適切であればヒット件数が10件に満たない。熟語の場合も同様。

#### 9.検索式の作成

キーワードを論理式 and（絞込み） or（いずれか・あるいは） not（除く）を使用して検索式にする。以下の例を参照のこと（詳細は別途説明する）

アメリカの BSE の発生件数	アメリカ and BSE and 件数
アメリカと日本の牛肉輸出入交渉	アメリカ and 日本 and 牛肉 and 交渉
アメリカと日本の BSE 検査体制	(アメリカ or 日本) and BSE and 検査
	(アメリカ or 日本) and (BSE or 狂牛病) and 検査